

## 平成 28 年度専門看護師・認定看護師活動研修 報告

1月28日(土)、看護研修センターにて専門看護師・認定看護師活動研修会を開催。地域包括ケアシステムの流れのなかで、私たちが専門看護師・認定看護師として院内だけではなく地域でどのような取り組みをしていくべきかを考える研修会でした。

はじめに、島根県医療政策課医療専門員の杉谷亮先生から、地域医療構想の現状と方向性について講義を受け、今後の医療の在り方について理解を深めました。その後、皮膚・排泄ケア認定看護師の檜谷みどりさん、訪問看護認定看護師の齋藤貴美子さんから、実践報告をして頂きました。内容は、在宅で療養している患者さんが長く在宅で暮らすことができるように専門的知識・技術を生かしてどのように活動しているかについてでした。

その後、専門分野にわかれてグループワークを行い、地域で療養する患者さんが「時々病院・ほとんど在宅」で過ごせるようにするには、私たちが専門知識をどう活かすのか、どのような事が必要なのかを話し合いました。

### <研修を通して感じたこと>

分野によってできることは違いますが、院内だけではなく地域の医療・介護関係者や地域住民に私たち専門看護師・認定看護師の存在をアピールし、人的資源(リソース)として利用して頂くことが大切ではないかと感じました。



- ・国や県の動きがわかった
- ・顔の見える連携の大切さを再認識
- ・病院としてのシステム作りが必要
- ・自身のパワー、やる気が必要
- .....

